

## 2017 年度日本建築学会設計競技優秀賞の受賞

自然科学研究科環境科学専攻（建築学コース）博士前期課程 1 年の中津川銀司君が、2017 年度日本建築学会設計競技優秀賞（主催：一般社団法人日本建築学会）を受賞しました。

日本建築学会設計競技は、全国の建築系大学生・大学院生と第一線で活躍している建築家が応募しています。1952 年から続く、歴史ある設計競技です。312 の応募作品の中から支部毎に優れたものを選出して、全国大会で 12 作品を公開審査した結果です。

本受賞作品は、西村伸也教授・棒田恵助教が担当する博士前期課程の「建築計画・設計学特論」で取り組み、「地域の素材から立ち現れる建築」というテーマに対し、「転換する浚渫」と題して新潟の佐潟と地域とを結び付ける佐潟の土（浚渫）を利用してデザインした建物です。

受賞者・受賞作品名：中津川銀司・「転換する浚渫」

（自然科学研究科環境科学専攻（建築学コース）博士前期課程 1 年）

（授業担当教員：西村伸也教授、棒田恵助教）



日本建築学会設計競技全国 2 次審査会での発表の様子と中津川銀司君